

鶴岡市立荘内看護専門学校移転新築外構工事

番号	図面名	縮尺
1	特記仕様書 1	NON
2	特記仕様書 2	NON
3	特記仕様書 3	NON
4	外構図、数量表、外構詳細図1	1:400,60
5	外構詳細図2	1:60,100
6	外構詳細図3	1:60
7	外構詳細図4	1:20,NON
8	外灯設備図	1:400,50

特記仕様書

- 1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。
2. 本特記仕様書における採用事項
① 項目欄は番号等に 印を付したものを適用する。
② 項目欄に 印を付し特記事項欄に 印を付していない場合は標準仕様書による。
③ 特記事項は 印を付したものを適用する。但し 印の付かない場合は 印の付した事項を採用する。
④ 印と 印を付した場合は共に適用する。
3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。
① 国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版
② 国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版
③ 国土交通省大臣官房長官官務部監修 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版
4. その他事項
・各項目欄の番号(例:1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する
・各項目欄の番号(例:表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする
・各項目欄の番号(例:1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include 1.4 工事実績情報登録, 2.4 工事の記録等, 3.1 発生材の処理等, 4.* 使用材料, 5.9 化学物質の濃度測定, 7.1 完成時の提出図書, 7.2 完成図, 7.3 工事中の写真撮影, 3.1 監督職員事務所等, 3.3 工事用水, 3.3 工事電力, 3.3 仮囲い.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include 3.* 仮囲い, 3.3 落下物、飛散物等による危険防止, 3.* 洗車設備, 3.3 仮排水, 4.* 家屋調査, 2.3 埋戻し及び盛土, 2.3 建設発生土の処理, 4.1 地業工事, 6.2 材料, 6.3 砂利及び砂地業, 6.4 捨てコンクリート地業, 6.5 床下防湿層, 5.1 鉄筋工事, 2.1 鉄筋, 2.2 溶接金網, 3.4 継手及び定着, 3.5 鉄筋のかぶり厚さ、間隔, 3.5 各部配筋, 6.1 コンクリート工事, 2.1 コンクリートの種類.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include 2.1 コンクリートの種類, 2.2 コンクリートの強度, 2.4 フォーミング及びスラブ, 2.5 構造体コンクリートの仕上げ, 3.1 コンクリートの材料, 3.2 コンクリートの割合, 6.4 打継ぎ, 7.1 湿潤養生, 8.1 型枠一般, 8.2 材料, 10.1 一般事項, 10.2 種類及び品質, 11.1 一般事項, 11.2 材料及び割合.

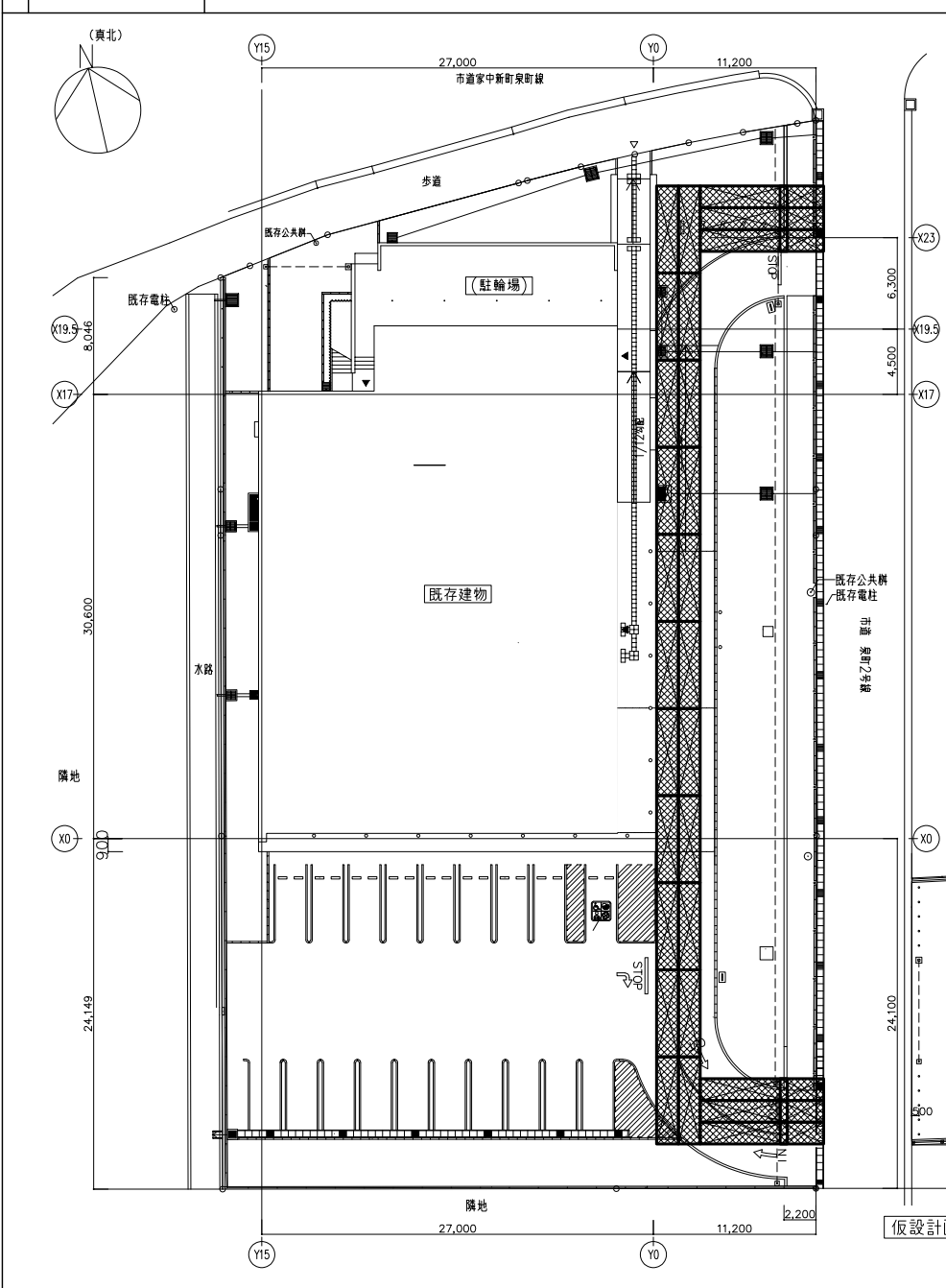
6章 コンクリート工事	12.2 材料及び調査 13.1 一般事項 13.2 材料及び調査 14.1 一般事項	特記事項 12. 暑中コンクリート 構造体強度補正值(S): *6 N/mm ² 13. マスコンクリート 適用箇所: ・図示 セメントの種類: ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・混合セメント 混合セメントの混和材: ・フライアッシュ【Ⅰ種・Ⅱ種】 ・高炉スラグ微粉末(4000) 所要スランブ: ・8cm以下 ・12cm以下 *15cm以下 14. 無筋コンクリート コンクリートの種類: *普通コンクリート 適用箇所: *標準仕様書による ・下表による ◎図示
7章 鉄骨工事	15.1 一般事項	15. 流動化コンクリート 流動化コンクリートの適用: ・適用する【使用箇所: ・図示 ・】
8章 コンクリート及び成形コンクリート板工事		
9章 防水工事		
10章 石工事		
11章 タイル工事		
12章 木工事		
13章 屋根及びとい工事		
14章 金庫工事		
15章 左官工事		

16章 塗工工事	1.3 材料	1. 共通事項 塗料の防火材料の指定: ・図示 ・無 ・有() 2. 素地ごしらえ
17章 カーテンウォール工事	2.1~2.7 ***素地ごしらえ	塗装面の種類
18章 塗表工事	3.2 塗料種別	種別
	3.3 錆止め塗料塗り	
	4.2 木部***塗り	
	4.3 鉄鋼面***塗り	
	5.2 珪藻土塗り	
	6.2 アクリル***塗り	
	7.2 鉄鋼面***塗り	
	7.3 亜鉛めっき***塗り	
	7.4 コツクリート***塗り	
	8.2 コツクリート 撥水材塗り	
	8.4 鉄鋼面***塗り	
	9.2 合成樹脂***塗り	
	10.2 ウレタン樹脂ニス塗り	
	11.2 ステン塗り	
	12. 木材保護塗料塗り (WP)	

19章 内装工事	20章 コンクリート及びその他の工事	21章 排水工事	22章 材料	23章 施工	24章 材料
			2. 屋外雨水排水 排水管材種: ・遠心力鉄筋コック管 ・硬質ポリ塩化ビニル管【・VP ・VU】 ・リライ硬質ポリ塩化ビニル3層管(RS-VU) ・排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手(DV) ・屋外排水設備用硬質ポリ塩化ビニル管継手(VU継手) ・図示 管径: ◎図示 側溝(形状・寸法): ◎図示 側溝(形状・寸法): ◎図示 排水溝(形状・寸法): ◎図示 ・現場打ち角型: 600x600 ・コックリ既製溝: 300x300 現場打ちコックリの種類: *普通コックリ(Fc=18N/mm ² ◎図示; 15cm・18cm) ・図示 現場打ち鉄筋の種類: ◎SD295A ・図示 □ 樹蓋 材質: ◎図示 ・鋳鉄製グレーチング ・鋼製グレーチング ・スチール製グレーチング ・コックリ製 ・鋳鉄製 種類: ◎図示 ・マンホール蓋 ・床化駐マンホール蓋 ・格子蓋 種類: ◎図示 ・水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 適用荷重: ◎図示 ・歩行用 ・T-2 ・T-6 ・T-14 ・T-20 ・T-25 メインバーピッチ等: ◎図示 ・普通目 ・細目ノアレン ・細目ノアレン □ 側溝グレーチング 材質: ◎図示 ・鋼製 ・スチール製 適用荷重: ◎図示 ・歩行用 ・T-2 ・T-6 ・T-14 ・T-20 ・T-25 メインバーピッチ等: ◎図示 ・普通目 ・細目ノアレン ・細目ノアレン 地業の材料: ◎砂利地業 ◎再生クラックラック ・切込砕石 ・切込砂利 地業の材料: ・砂地業【・山砂 ・川砂 ・砕石】 砂のふるい分け試験: ・適用する ・適用しない 埋戻し材料: ・A種 *B種 ・C種 ・D種 盛土地盤等の施工法: ・図示 継手の工法: ・図示 □ 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ: ・図示 基床の種類: ・図示 □ 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ: ・図示 基床の種類: ・図示 継手の種類: *接着材 ・ゴム輪 排水溝の足掛け金物: ・φ22スチール製 ・φ22防錆処理鋼製 ・φ19合成樹脂被覆鋼製 3. 街きよ、縁石及び側溝 縁石の形状・寸法: ◎図示 L形側溝の形状・寸法: ・図示 U形側溝の形状・寸法: ◎図示 U形側溝の蓋の形状・寸法: ◎図示 コックリの種類: *無筋コックリ ・図示 コックリの材料強度: *18N/mm ² ◎21N/mm ² ・図示 地業の材料: ◎砂利地業 ◎再生クラックラック ・切込砕石 ・切込砂利 砂利地業の厚み: *100mm ◎図示 地業の材料: ・砂地業【・山砂 ・川砂 ・砕石】 砂地業の厚み: *100mm ・図示		

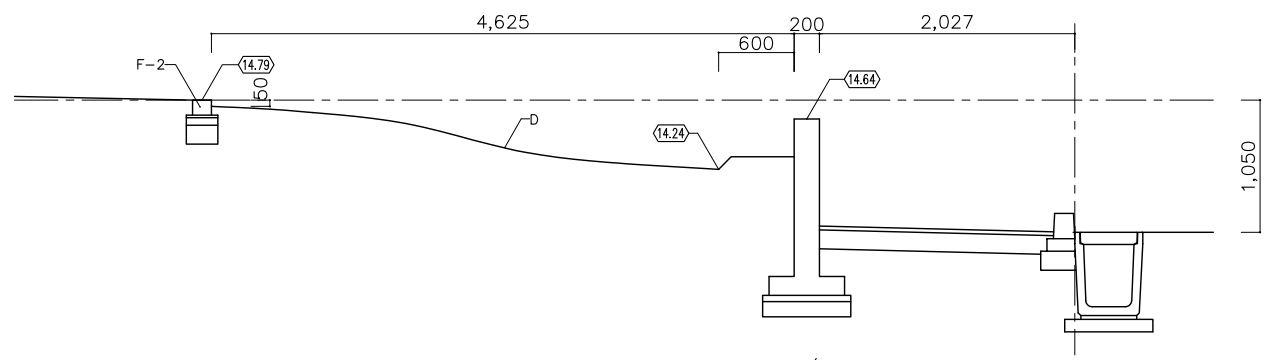
章	項目	特記事項
22章	2.2 路床の構成及び仕上	2. 路床 舗上抑制層の適用： ・適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用： ・適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm 路床安定処理の適用： ・適用しない ・適用する 方法： ・添加材による処理 ・図示 盛土の材料： ＊表3.2.1による(・A種 ・B種 ・C種 ・D種) ・図示 路床安定処理用添加材料： ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメント ・生石灰【・特号 ・1号】 ・消石灰【・特号 ・1号】 透水性舗装のフィルター： ・図示 路床土のCBR試験： ・行わない ・行う【・乱した土 ・乱さない土】 路床締固め度試験： ・行う ・行わない 現場CBR試験： ・行わない ・行う
	2.3 材料	
	2.5 試験	
③	③ 路盤の厚さ及び仕上	3. 路盤 歩道部の路盤の厚さ：○・図示 ・ 車道部の路盤の厚さ：○・図示 ・ 路盤の材料： ・砕石【・クワックワ】 ・粒度調整砕石】 ○再生材【・クワックワ】 ・粒度調整砕石】 ・クワックワ鉄鋼スラグ ・
④	④ 舗装の構成及び仕上	4. アスファルト舗装 舗装の構成及び厚さ：○・図示 ・ 車道部の基層の適用： ・適用しない ・適用する 舗装の平坦性： ＊通行の支障となる水たまりがない程度 ・水の滞留がない平滑性 再生アスファルトの種類： ・60～80 ・80～100 加熱アスファルト混合物等の種類： 表層：○ 密粒度アスファルト混合物 ・細粒度アスファルト混合物 アスファルト混合物の抽出試験： ・行う ・行わない
④	④ 材料	
④	④ 配合その他	
4.6	4.6 試験	
5.2	5.2 舗装の構成及び仕上	5. コンクリート舗装 寒冷地の縁部立下り寸法： ・図示 ・ □ 車道部コンクリート 設計基準強度(車道部)： ＊24N/mm ² ・27N/mm ² ・ スランパ： ・5cm ＊8cm ・12cm ・ 粗骨材の最大寸法： ・20mm ・25mm ・40mm ・ 寒冷期舗装の早強セメントの使用： ・使用する ・使用しない 加熱施工式注入目地材： ＊低弾性タイプ ・高弾性タイプ □ 歩道部コンクリート 設計基準強度(歩道部)： ＊18N/mm ² ・21N/mm ² ・ スランパ： ・5cm ＊8cm ・12cm ・ 粗骨材の最大寸法： ・20mm ・25mm ・ 転圧コンクリート舗装： ・ 寒冷期舗装の早強セメントの使用： ・使用する ・使用しない 加熱施工式注入目地材： ＊低弾性タイプ ・高弾性タイプ
5.3	5.3 材料	
5.4	5.4 施工	目地の種類及び間隔： ＊表22.5.3による ・図示 目地の構造： ＊図22.5.1による ・図示
⑥	⑥ 舗装の構成及び仕上	6. カラー舗装 □ 車道部 カラー舗装の種類： ・加熱系【・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物】 ・図示 ・常温系【・ニート工法 ・塗布工法】 ・図示 常温系カラー舗装の下部： ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 結合材による種類： ・図示 ・ 車道部の基層の適用： ・適用しない ・適用する □ 歩道部 カラー舗装の種類○ ・加熱系【・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物】 ・図示 ・常温系【・ニート工法 ・塗布工法】 ・図示 常温系カラー舗装の下部： ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 結合材による種類： ・図示 ・ 車道部の基層の適用： ・適用しない ・適用する 添加骨材：○ ・着色骨材； ・自然石； 石油樹脂系顔料の添加量： ・製造所仕様による ・図示 ・ ニート工法の配合： ・製造所仕様による ・図示 ・ 塗布工法の配合： ・製造所仕様による ・図示 ・
⑥	⑥ 材料	
6.4	6.4 配合その他	

章	項目	特記事項
22章	7.2 舗装の構成及び仕上	7. 透水性アスファルト舗装 舗装の厚さ： ・車道部【・50mm ・ 】 ・歩道部【・30mm ・ 】 舗装の平坦性： ＊著しい不陸がない程度 ・水の滞留がない平滑性 アスファルトの種類(車道部)： ・図示 ＊ポリマー改質アスファルト?型 ・ポリマー改質アスファルト?型 アスファルトの種類(歩道部)： ・図示 ＊ストリートアスファルト
	8.2 舗装の構成及び仕上	8. ブロック系舗装 コンクリート平板舗装の目地材： ＊砂 ・モルタル 舗石舗装の基層及び厚さ： ・コンクリート版【厚さ： ＊70mm ・図示 ・ 】 ・アスファルト混合物【厚さ： ＊50mm ・図示 ・ 】 舗石舗装のクッション材： ＊砂 ・空線モルタル ・図示 舗装仕上り面の平坦性： ・図示 ＊3mm ・1.5mm コンクリート平板舗装の種類/寸法： ＊N300 ・ 舗石の種類/寸法： ＊2等品 ・
	8.3 材料	
⑨	⑨ 材料	9. 砂利敷き 種別(通路)： ＊A種 ・B種 種別(建物周囲)： ・A種 ＊B種

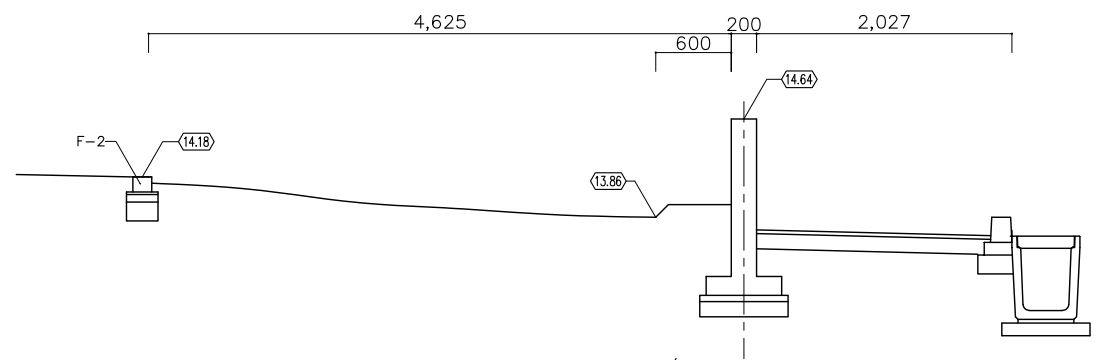


章	項目	特記事項
23章	② 植栽基礎一般	2. 植栽基礎 有効土層として整備する面積/厚さ： ＊表23.2.1による ○図示 基礎浸透排水施設の設定： ・設置する ○設置しない 排水施設： ・図示 ・暗渠 ・開渠 ・排水層 ・縦穴排水 ・ 植栽基礎整備工法(樹木)： ＊A種 ・B種 ・C種 ・D種 植栽基礎整備工法(芝、地被類)： ＊A種 ＊B種 ・C種 ・D種 土壌改良の適用： ・適用する ・適用しない 植込み用土： ・現場発生の良質土 ○客土 土壌改良材： ・バーク堆肥 ・発酵下水汚泥コップス ・ バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・適用しない ・適用する；
	② 材料	
3.2	3.2 材料	3. 植 樹 樹木の樹種/寸法/株立ち数等○ ・図示 ・ 支柱材： ＊丸太【・杉 ・松 ・ 】 ・竹 支柱材の防腐処理方法： ＊加圧式防腐処理 ・焼き丸太処理 ・ 幹巻き用材料： ＊幹巻きテープ ・わら及びこも 支柱の工法： ・図示 ・添え柱形 ・鳥居形 ・八掛形 ・ 3.3 新植の工法 3.4 新植樹木の枯損補償 3.6 移植樹木の枯損補償 補償期間： ＊引渡しの日から1年 ・ 補償期間： ＊同等のものを再植樹、及び撤去樹木等の処分 ・図示
④	④ 材料	
④	④ 芝張りの工法	4. 芝張り、吹付けは種及び地被類 芝の種類： ＊コライバ ○ノバ ・ 吹付けは種用種子の種類/量： ＊洋芝類(g/m ²) ・図示 ・ 地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数： ・図示 ・ 芝張りの工法(平地)： ＊目地張り ・べた張り 芝張りの工法(法面)： ・目地張り ＊べた張り 補償期間： ＊引渡しの日から1年 ・
④	④ 芝張り***の枯損補償	
5.2	5.2 植栽基礎	5. 屋上緑化 □ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ： ・ □ 屋上緑化システム 排水層： ・軽量骨材 ・板状成型品 土壌層： ・人工軽量土 ＊改良土 □ 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種/寸法/株立ち数等： ・図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等： ・図示 ・ 5.4 工 法 建設省告示第1458号に対応した工法： ・ 支柱の設置/形式等： ・設置しない ・設置する； 灌水装置の設置/種類： ・設置しない ・設置する； 5.5 新植樹木、芝及び 地被類の枯損補償及び地被類の補償期間： ＊引渡しの日から1年 ・ 補償期間： ＊引渡しの日から1年 ・
5.3	5.3 材料	
5.4	5.4 工 法	
5.5	5.5 新植樹木、芝及び 地被類の枯損補償及び地被類の補償期間	
6.3	6.3 材料	
6.4	6.4 配合その他	

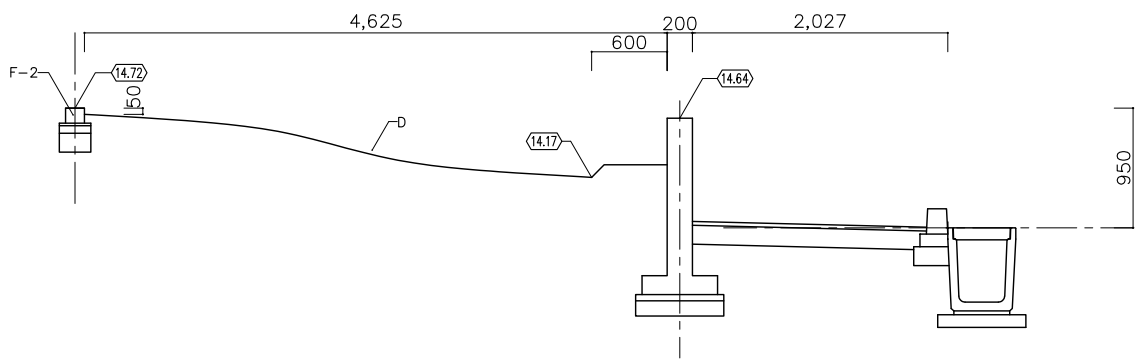
工事車面の駐車場所及び資材、機材置場について：
工事期間中の4月から工期未まで、現荘内看護専門学校の敷地及び建物の一部を無償にて借用する。
(住所：鶴岡市馬場町2番1号 一般車面：12台程度)
なお、その他の期間については、別途協議とする。



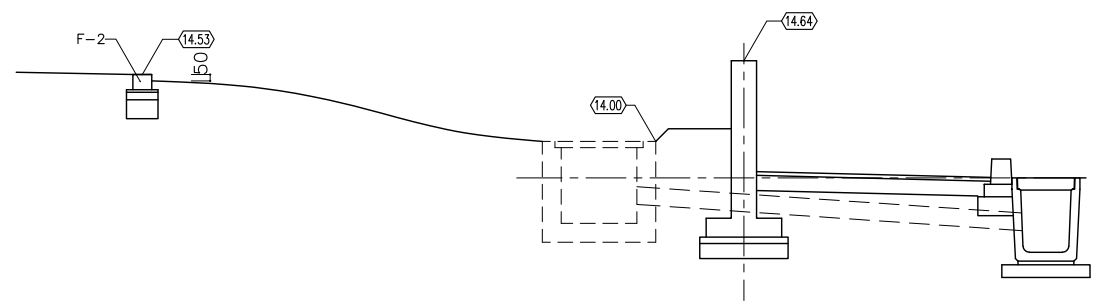
あ～あ 敷地断面図 S=1/60



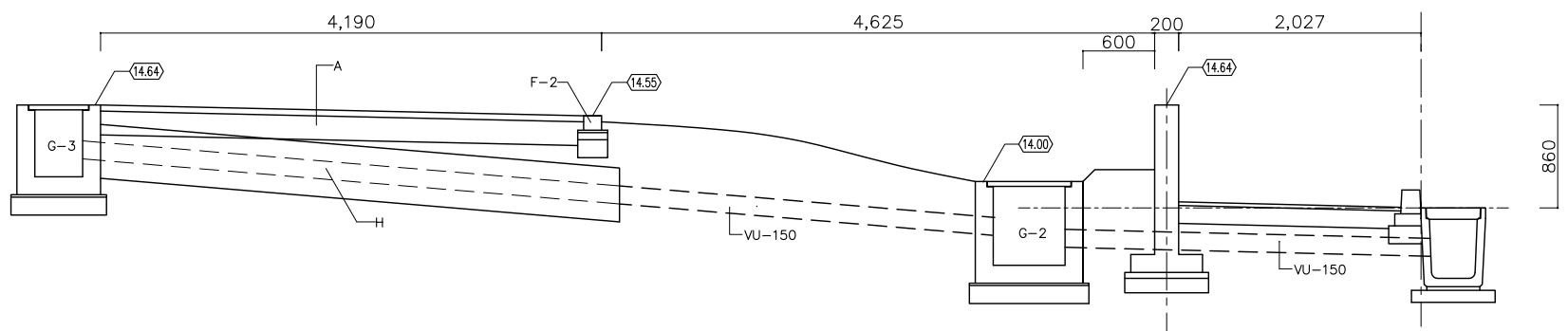
え～え 敷地断面図 S=1/60



い～い 敷地断面図 S=1/60

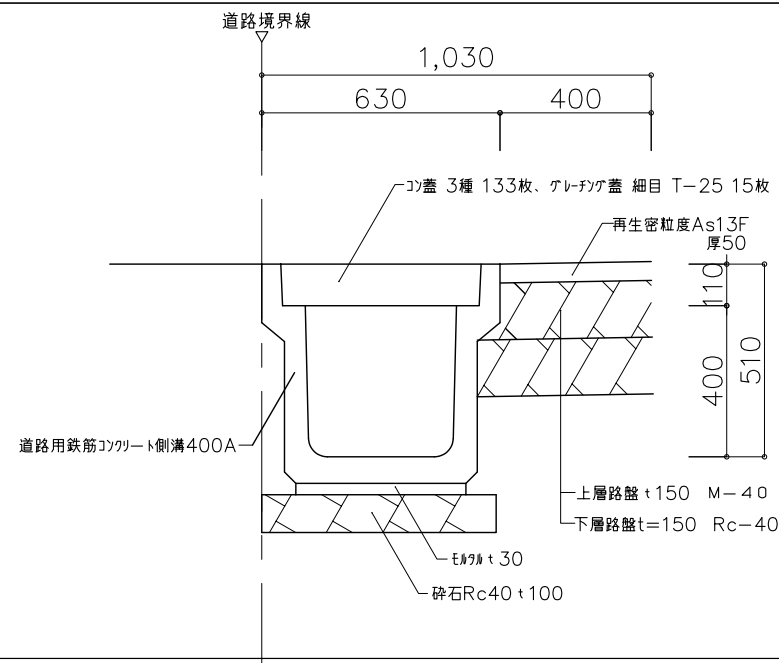


お～お 敷地断面図 S=1/60
(枔A-7取り合い)

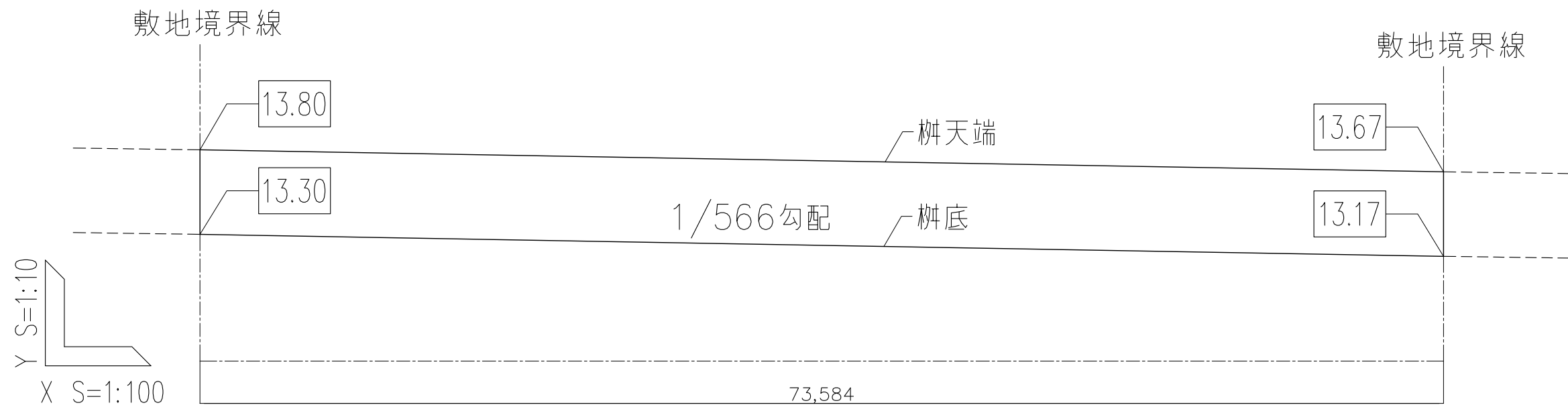
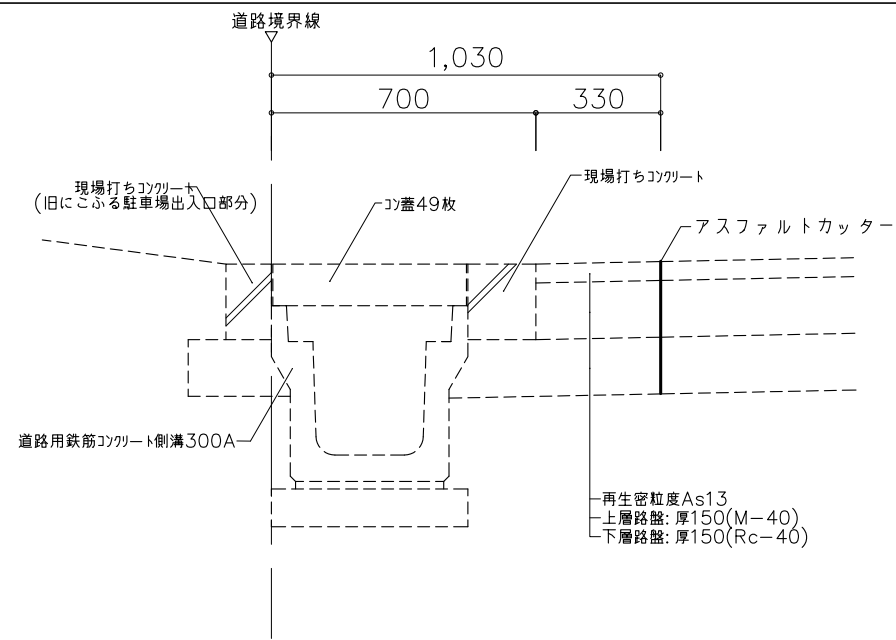


う～う 敷地断面図 S=1/60

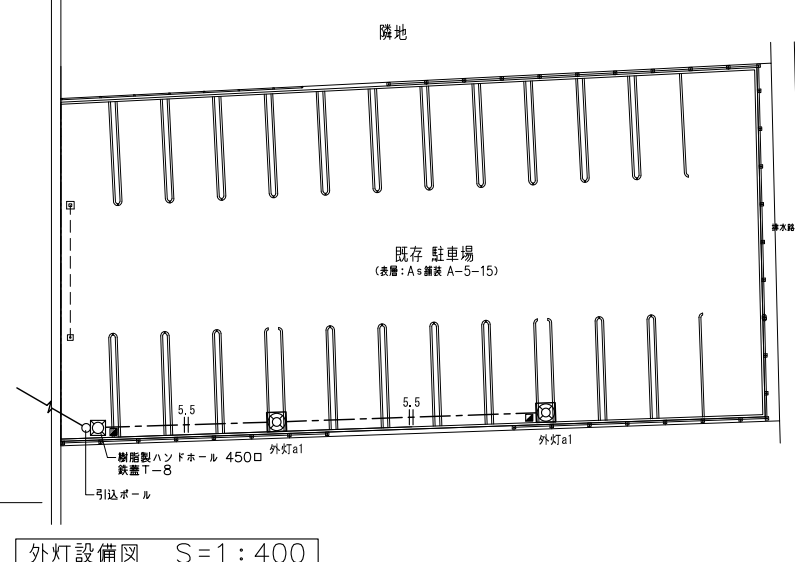
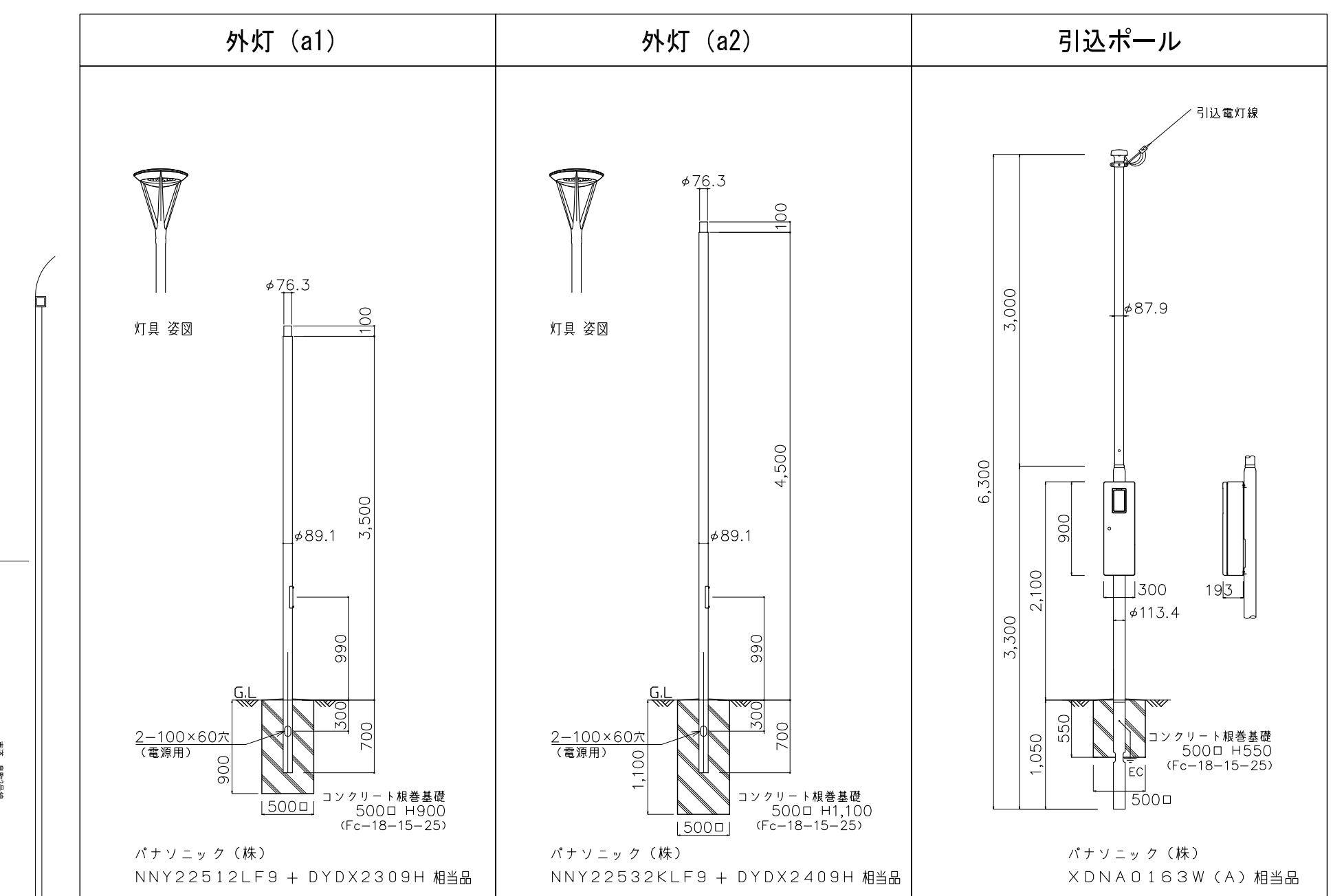
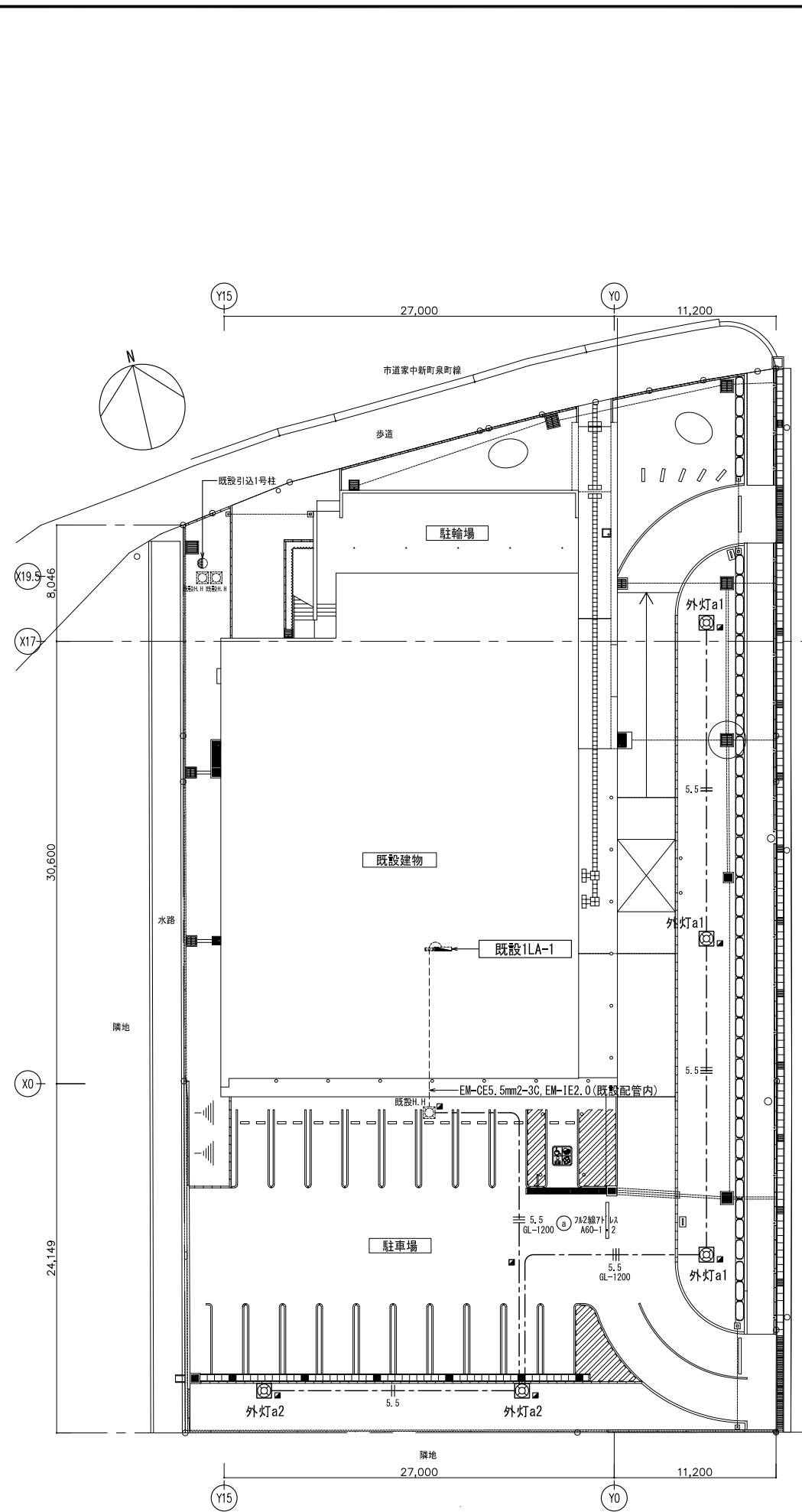
24条工事部新規側溝



24条工事部現況側溝 (想定)



24条申請道路側溝縦断図



- 凡例
- 5.5 EM-CE5.5mm2-2C, EM-1E2.0 (FEP30) GL-600
 - 5.5 EM-CE5.5mm2-3C, EM-1E2.0 (FEP30) GL-600
 - 5.5 GL-1200 EM-CE5.5mm2-3C, EM-1E2.0 (FEP30) GL-1200
- 既設H.H. 既設ハンドホールを示す。
- 埋設杭: コンクリート製90×90×600
- 埋設配管上部には、埋設シート(ダブル)を2条敷設する事。
防火区画貫通処理部は、国土交通大臣認定工法とする。
7/2線7F以上設定・タイマ設定を行う事。